

臨時の動かさない障害物についてのローカルルール

ティーインググラウンド付近、No.13 ホール・No.16 ホールのホールインワン賞看板は、臨時の動かさない障害物（以下TIOという）とする。

1.定義

臨時の動かさない障害物（以下TIOという）とは恒久的なものではない人工の物であって、競技開催に伴って臨時に設けられることが多く、固定されていたり容易には動かさないものである。

TIOを支えるワイヤは、そのTIOの一部である。

2.障害

次の場合にTIOによる障害が生じたという。

(a)球がTIOの前にあり、しかもそれに近接しているために、そのTIOがプレーヤーのスタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合

(b)球がTIOの中、上、下にある、あるいはTIOの後にあるために、そのTIOの一部が球とホールのちょうど間に介在していて、かつプレーの線上にあるとき。このような介在が生じている箇所から、ホールから等距離に沿って1クラブレングス以内に球があるときも障害が生じていることになる。

注：球がTIOの最も外側のふちの下にある場合、そのふちが地面に向けて下に延びていなくても、その球はTIOの下にある球である。

3.救済

プレーヤーは、TIO(アウトオブバウンズにあるTIOを含む)による障害から次の救済を受けることができる。

救済を受ける場合には、

(a)スルーザグリーン

球がスルーザグリーンにあるときは、(a)ホールに近づかず、(b)このローカルルールの2項に示す障害を避けられる、(c)ハザード内でもパッティンググリーン上でもない場所で、球のある箇所に最も近い地点をコース上に決めなければならない。プレーヤーは球を拾い上げ、その地点から1クラブレングス以内で、前記の(a)、(b)、(c)の3条件を満たすコース上の箇所に罰なしにドロップしなければならない。

(b)ハザード内

球がハザード内にあるときは、プレーヤーは球を拾い上げて、次のどちらかの処置をとらなければならない。(i)罰なしに、完全な救済を受けられるコース上の最も近い箇所をハザード内に決めなければならないという点と、球もそのハザード内にドロップしなければならないという点を除き、他はすべて前記3(a)に準じてドロップ。完全な救済を受けることができないときは、そのハザード内で最大限の救済を受けられるコース上の箇所に、ドロップ。

(ii)1打の罰のもとに、そのハザードの外にドロップ。この場合、(a)ホールに近づかず、(b)このローカルルールの2項に示す障害が避けられ、しかも(c)ハザード内でない所で、球のあった箇所に最も近い地点をコース上に決めなければならない。プレーヤーはその地点から1クラブレングス以内で、前記の(a)、(b)、(c)の3条件を満たすコース上の箇所にドロップしなければならない。

3項に基づき拾い上げた球はふくことができる。

注1：球がハザード内にある場合、このローカルルールにかかわらず、プレーヤーは規則26か、規則28のどちらか適用できる規則により処置することができる。

注2：このローカルルールによりドロップしなければならない球がすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。

注3：委員会は次のようなローカルルールを作ることができる。

(a)TIOよりの救済を受ける際に、指定ドロップ区域を使用することをプレーヤーに認めたり、その使用をプレーヤーに要求するローカルルール

(b)このローカルルールの3項により決定した地点の、TIOをはさんだ反対側に拾い上げた球をドロップすることを(それ以外の点についてはこのローカルルールの3項に従っていることを条件として)、追加の救済処置としてプレーヤーに認めるローカルルール

例外：プレーヤーの球がTIOの中や上や下ではなく前か後ろにある場合で次のときには、プレーヤーはこのローカルルールの3項による救済を受けることはできない。

(1)TIO以外の物による障害のために、ストロークをすることが(「介在」の場合には、ホールと球を結んだ直線上に球を運んで行くようなストロークをすることが)明らかに無理なとき。

(2)TIO による障害が明らかに不合理なストローク、不必要に異常なスタンスやスイング、プレーの方向をとることによってだけ起きるようなとき。

(3)「介在」の場合では、その TIO に届くほど、プレーヤーが球をホールに向けて遠くに打つことができると期待するのは明らかに無理と思われるとき。

前記の例外により救済を受けることができないプレーヤーは、球がスルーザグリーンやバンカー内にあるとき、適用できるのであれば規則 24-2b に規定する救済を受けることができる。球がウォーターハザード内にあるときは、プレーヤーは救済のニヤレストポイントをそのウォーターハザード内に決めなければならないという点と、その球はそのウォーターハザード内にドロップしなければならないという点を除き、24-2b(i)に従って、球を拾い上げてドロップするか、規則 26-1 の処置をとることができる。

4.TIO の中で見つからない球

見つからない球が TIO の中や上、下にあることが分かっているか、ほぼ確実な場合、プレーヤーは、適用できる場合、このローカルルールの 3 項に従って球をドロップすることができる。なお、このローカルルールの 3 項の適用に限っては、球がその TIO の最も外側の縁を最後に横切った地点にその球はあったものとみなされる(規則 24-3)。

競技委員長